

出水地区におけるノリ養殖業者グループへの活動支援

北薩地域振興局林務水産課

【背景・目的】

出水地区は本県で唯一のノリ養殖生産地であるが、その南限にあるため、気候や海域環境の変動を受けやすく生産は不安定な状況にある。このため、より高品質で評価の高いノリ生産に向け出水産地種「イズミアサクサ野口種」の養殖に取り組むノリ養殖業者グループの活動を支援し、出水海苔のブランド化を促進する。

【普及の内容・特徴】

- 1 養殖技術の統一化に向けた検討
張り込み水位、摘採方法等を検討した。
平成29年 4月 4日 今年度計画の打合せ
7月 7日 カキ殻状況確認、洗浄日程打合せ
10月11日 秋芽網の一斉張り込み、採苗、冷温短日処理日程打合せ
12月19日 秋芽網の一斉撤去、冷凍網張り込み日時協議
- 2 アサクサノリの安定的養殖技術の確立
これまで習得・実証を行ったアサクサノリカキ殻糸状体管理、陸上採苗に向けた成熟促進、陸上採苗及び海上展開等の技術について、その再現に取り組み、技術の確立を目指した。
平成29年 4月 4日 アサクサノリフリー糸状体培養開始（6月8日追加植付）
10月11日 高水温対策に関する研修
日本水産資源保護協会巡回教室
講師：佐賀県有明水産振興センター 川村嘉応先生
10月17日 殻胞子放出促進のため冷温短日処理を開始
10月24日 成熟促進のための培養海水入れ替え
10月30日～11月2日 水車方式による陸上採苗
- 3 出水産海苔のPR
一般消費者を対象にしたイベントを地元で開催し、地元産海苔のPRを図った。
平成30年 2月 2日 地元女子高生徒、自然食愛好家等消費者、を対象に手漉き体験、加工機器見学等を実施

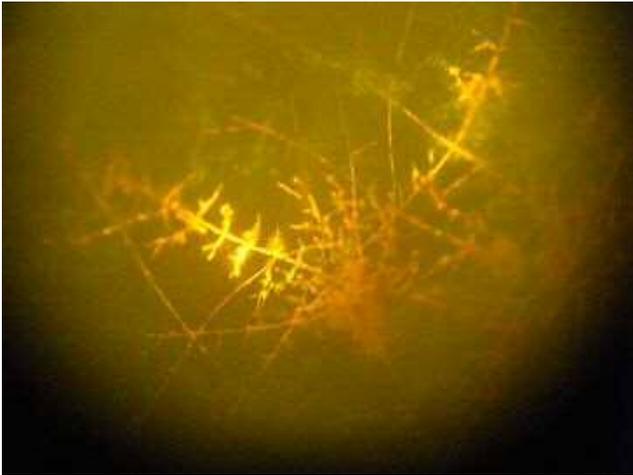
【成果・活用】

カキ殻糸状体の培養技術向上が図られるとともに、養殖方法の統一化や陸上採苗の共同活動、イベント参加者を対象としたPR活動等を通じ、グループ員の意識醸成が図られ、GI登録に向けた検討など、出水海苔のブランド化に向けた取組が推進された。

アサクサノリの陸上採苗においては、ノリ網へ多数の胞子の付着が確認でき、海上展開後の生長に十分な胞子数を確保でき、秋芽網、冷凍網ともに収穫もできた。

【その他】

ブランド化に向け統一した基準等を検討することとしている。



カキ殻に移植したアサクサノリ糸状体



培養状況（カキ殻糸状体）



高水温対策に係る研修（10月11日）



冷温短日処理実施（10月17日）



水車による陸上採苗（10月30日～11月2日）



海苔手漉き体験（2月2日）